

第34回 日本手術看護学会九州地区筑後分会研修会報告書

【研修会名】第34回 日本手術看護学会九州地区筑後分会研修会		
日時：2025年2月1日（土）13:30～16:00 場所：久留米大学医療センター附属棟2階大ホール 受講者：93名	担当	地方独立行政法人 筑後市立病院
目的 ・ 目標	手術室関連医療従事者の手術看護に必要な知識の習得及び親睦を図り、専門領域看護の向上を目的とする。 テーマ「手術室における災害看護」 1) 災害発生時の対応に必要な基礎知識と術中に備えた教育方法について理解できる。 2) 病院間での情報の共有ができる。	
内容	13:30 ～ 13:33 オリエンテーション 開会の挨拶 13:33 ～ 13:35 講師自己紹介と研修目的と内容 13:35 ～ 13:45 参加者のグループ内での自己紹介 13:45 ～ 14:00 Session1 自分の地域は大丈夫！？ 講義+演習①：地域のリスクアナライシス by 重ねるハザードマップ 14:00 ～ 14:20 Session2 実際はどうなの！？ 講義：熊本地震での熊本赤十字病院の手術センター災害対応 14:20 ～ 14:30 休憩 14:30 ～ 15:15 Session3 手術中に災害発生！！どうする！？ GW①：手術中の部屋で行うべきこと（15分） + 講義：初動対応アクションカード 15:15 ～ 16:00 Session4 平時からどう備える！？ 講義：システム + GW②：手術業務継続タイムライン（15分） + 講義：タイムライン” 16:00 ～ 16:05 まとめ・質疑応答 閉会・次回案内	
評価	<ul style="list-style-type: none"> 今回、テーマが「手術室における災害看護」であった。研修前にも直近で宮崎地震発生等もあり、より身近でタイムリーなテーマとして手術室看護師にとって関心がある内容であった。当日は93名と多くの参加が見られた。参加者より、講義・グループワーク内容について、アンケート回答者63名のうち大変参考になった(93.5%)、参考になった(6.5%)と回答があった。自由記載項目については、研修会を通してアクションカードの重要性や行動基準の見直しが必要といった意見も多く、新たな学びに繋がったという意見があった。講義は講師の実体験からの講義や画像提示でもあったため、今回の研修が実践につながる内容であったとの意見もあった。これまで災害発生時に遭遇したことがないがこの研修をもとに、初動時の対応に活かしていきたいとの感想が多かった。災害時に必要な基礎知識や術中急変に備えた教育方法について学びを深めることができ目標は達成できた。 グループワークに関し、今回講義中2回グループワークが行なわれた。他病院の看護師とのディスカッションも盛んであり「他病院のことについても知ることができ、新しい学びとなった。」など高評価な意見が見られ目標は達成できた。グループワークを通して他施設での取り組みを学ぶ機会になったと回答があった。 	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果で、アンケート結果を反映させた研修会などを検討していく必要がある。 QRコードによるアンケートを実施したが、アンケート回収率が67.7%であったため回収方法やアンケートを入力する時間設定などを検討する必要があった。 参加人数定員を100名程度、FAXでの返信とした。定員になり次第締め切りを行うという表示をしていなかったため、結果99名の申し込みとなり、当日参加者も考慮すると予定人数を超える可能性が高かった。人数次第では早めに収容可能数な会場への変更も視野に入れておく必要があったと考える。 	